



種別デザインマニュアル

1 公園・緑地

2 道路

3 水辺空間

4 公共建築物

5 公共サイン





1. 公園・緑地

公園・緑地を構成する重要な要素（園路・広場や修景施設、植栽など）に分類し、公園や緑地がもたらす魅力や周辺環境を潤す自然景観の観点から配慮すべき事項の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

良好な公園・緑地を形成するため下記の事項に配慮し、街並みと調和した亞熱帯の緑豊かなデザインを心がけることが重要です。

【良好な公園・緑地を形成するための事項】

(1) 自然を守り自然と調和した緑豊かな空間づくり

- ① 身近な自然環境の保全を図ると共に自然に親しめる空間として活用を図るなど、メリハリあるバランスのとれた整備に配慮しましょう。
- ② 地形改変はできるだけ少なくし、現状の地形に調和させるよう工夫を図りましょう。
- ③ 人工構造物は、周辺景観と調和させ、風景の一部として違和感ないデザインとし、自然素材や周辺景観に馴染む素材を活用しましょう。
(※「2.道路_2-3.法面・擁壁」参照)
- ④ 沖縄の風土特性に配慮した『「亞熱帯庭園都市」なは』のイメージを演出する植栽に努めましょう。

対象項目

- 1-1 園路・広場
- 1-2 修景施設
- 1-3 植栽
- 1-4 建築施設

(2) 地域の顔となる空間づくり

- ① 自然林や樹木などの自然資源、御嶽^{※1} やカ一^{※2}などの歴史文化資源などを取り込み活用しましょう。
- ② 伝統行事、特産物などをデザインに活用する等、地域の個性を創出しましょう。但し、具象的に華美なデザインとならないよう配慮しましょう。
- ③ 地場産の素材の積極的な活用を図りましょう。

※1 御嶽(うたき):沖縄で神を祀る聖所です。※2 カ一:沖縄で井戸のことを言います。

対象項目

- 1-1 園路・広場
- 1-2 修景施設
- 1-3 植栽
- 1-4 建築施設

(3) 多様な活動の場としての空間づくり

- ① 地域の求める導入施設(機能)を把握し、適切な施設整備に努めましょう。
- ② 道路、河川、公共・公益施設、その他のオープンスペースが隣接する場合は、一体的整備に配慮し、機能と空間の広がりを確保しましょう。

対象項目

- 1-1 園路・広場
- 1-2 修景施設
- 1-4 建築施設

(4) 安全・安心で誰もが利用しやすい快適な空間づくり

- ① ユニバーサルデザインに配慮した施設づくりに努めましょう。
- ② 歩きやすい園路づくりに努めましょう。
- ③ 日陰スペース(緑陰など)の確保や遮熱性舗装の活用など、沖縄特有の強い日差しや暑さ対策に努めましょう。
- ④ 夜間照明の充実、見通しの良い空間の確保に努めましょう。

対象項目

- 1-1 園路・広場
- 1-2 修景施設



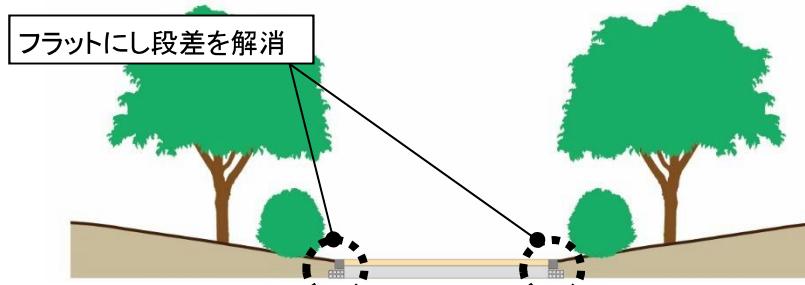
1-1 園路・広場

デザインの Point

- ◆ 園路や広場はシンプルな基本構造とするとともに、ユニバーサルデザインに配慮する事を原則としましょう。
- ◆ 園路幅員は、各施設の機能や配置、利用方法などを踏まえた幅員とし、周辺の景観に配慮した整備にしましょう。
- ◆ 園路縁石は段差を解消しフラットにする事で、周辺景観に馴染ませると共に、高齢者や障がい者等にやさしい園路となります。
- ◆ 園路舗装は、透水性のアスファルト舗装とすることで水たまりができにくくなります。また、園路の位置づけによって他の素材を用いたり、カラー化を用いたりするなど、工夫を図りましょう。
- ◆ カラー化を図る場合は、できる限りアースカラー※を用い、周辺景観に馴染みやすい色合いとしましょう。
- ◆ メインエントランス広場は、わかりやすいアプローチとなるようゲート性を創出するため、シンボリックな空間となるよう工夫を図りましょう。なお、公園内施設デザインとの調和に配慮したデザインとしましょう。
- ◆ 広場は、園路舗装と異なる舗装や芝生とする事で、単調になりがちな園路舗装にメリハリを与え、たまり空間として視覚的にイメージさせることに寄与します。
- ◆ 公園の出入口はオートバイ等の侵入防止に配慮するとともに、車いすやベビーカーが円滑に通行できる計画としましょう。

※アースカラー:大地(土や砂)・木(植物)などの主に茶系の色などの色彩のことと言います。

縁石部をフラットにし、段差を解消した園路



縁石を設げず段差を解消した事例

【富山県:富岩運河環水公園】



縁石部をフラットにし、段差を解消した事例

【本部町:海洋博公園】



ジョギングやウォーキングコースとして配慮した園路



利用者の負担軽減のため、ゴムチップ舗装を行った事例

【那覇市：新都心公園】



利用者の負担軽減のため、ゴムチップ舗装を行った事例

【那覇市：奥武山公園】

エントランス



赤瓦の門構えで沖縄らしい雰囲気を演出した事例

【那覇市：小禄金城公園】



エントランス部を花壇等で緑化を演出し、良好な自然景観を形成した事例【埼玉県：みさと公園】

進入路



オートバイの進入を防ぐように配慮した進入路

【福岡県：天神中央公園】



オートバイの進入を防ぐように配慮した進入路

【東京都：清水坂公園】



広場



公園の中央部に配置された芝生広場。管理が行き届いており、芝生の養生時期も設けている【東京都:南池袋公園】



駅の隣に整備された公園。広場の舗装面が白色を基調とし、周辺の景観と調和を図っている【埼玉県:大宮駅周辺】

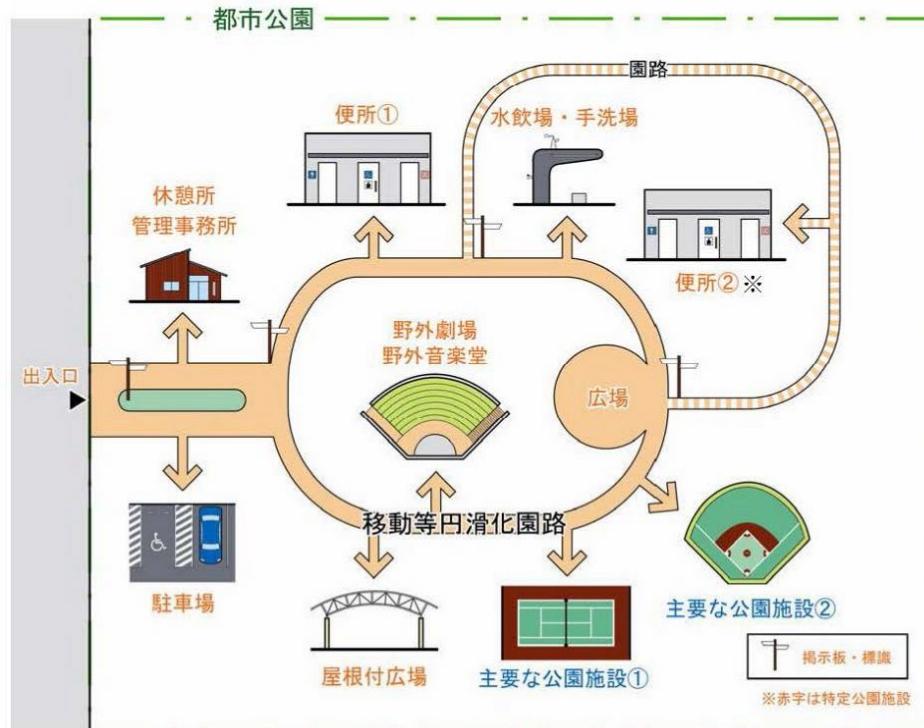
公共コラム

園路の移動等円滑化について



高齢者や障がい者等の移動や施設利用の利便性、安全性を向上するため、都市公園の出入口及び駐車場から公園施設に至るまでの経路を確保し、当該経路を移動等円滑化園路とする必要があります。各施設に至るうえで最も一般的と認められる経路を移動等円滑化するとともに、他の経路についても可能な限り移動等円滑化することが望ましいです。

また、高齢者や障がい者等が、自分のいる場所を把握し、目的地に行きやすいように、移動等円滑化園路を連続した明快で簡潔な動線や、わかりやすい空間構成とすることが重要です。



都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂版】(平成 24 年 3 月 国土交通省)より



1-2 修景施設

デザインのPoint

- ◆ 基本的に遊具を除く人工物のデザインは、景観性、機能性、安全性、維持管理などとのバランスを図りながら、自然(緑)との調和に配慮したデザインとしましょう。また、公園全体として一貫性のあるデザインとしましょう。
- ◆ 遊具はアクセント的に使用することで賑わい感を演出するのに効果的です。但し、鮮やかな色や原色系がよく使用され、目立ち過ぎる面もあることから、周辺の緑(樹木)に納まるよう配慮しましょう。
- ◆ 古くから残る“湧水”や“井戸”などを積極的に取り込み、せせらぎなど修景施設として活用を図りましょう。
- ◆ 隣接する道路や商業施設・公共施設等の施設との境界沿いは、可能な限り進入防止柵は設けず、公園内外になるべく連続性を持たせるよう配慮し、開放的で見通しの良い安全・安心な公園空間を創出しましょう。
- ◆ 進入防止柵等を設ける場合は、周辺の環境に応じて極力存在感を感じさせないデザインとしましょう。また、緑化など他の方法で機能を代替させるなどの配慮に努めましょう。

“湧水”や“井戸”を活用した水景施設



噴水や壁泉、せせらぎ水路が整備され、水に親しみやすい公園づくりを行った事例【金武町・大川児童公園】



水遊びが行えるよう、ポンプを設置している事例
【富山県・京坪川河川公園】

開放的で見通しの良い公園



柵を設けず開放的に整備された公園の事例
【那覇市・新都心公園】



柵を設けず開放的に整備された公園の事例
【豊見城市・豊崎にじ公園】



自然(緑)や周辺景観と調和に配慮したデザイン



周辺の景観に配慮し、茶系の遊具とした事例

【宜野湾市:宜野湾海浜公園】



手摺り部に木材を活用することで、周辺の自然景観に配慮した事例

【東京都:清水坂公園】

一貫性のあるデザイン



公園全体の色彩を茶系とし、暖かみを感じることができる空間を演出した事例【富山県:富岩運河環水公園】



同様のデザインと等間隔に配置された車止め

【那覇市:旭ヶ丘公園】

存在感を感じさせない柵類や他の方法で代替させた例



植栽や石材を活用した事例

【東京都:清水坂公園】



植栽を柵として活用している事例

【富山県:京坪川河川公園】



1-3 植栽

デザインの Point

- ◆ 『「亜熱帯庭園都市」なは』として緑豊かで彩りある植栽に努めましょう。
- ◆ 公園(またはエリアやゾーン)の位置づけやテーマを踏まえた樹種の選定や配植に努めましょう。但し、立地箇所や微気象など環境条件には十分に配慮しましょう。
- ◆ 生態系に危険を及ぼす外来種の選定は行わないようにしましょう。
- ◆ 草本類や低木類の植栽は、維持管理の状況など十分な検討を図りましょう。
- ◆ 遮蔽植栽は必要最小限とし、できるだけ見通しが良く明るい空間を形成し、安全・安心な空間を創出しましょう。
- ◆ 地域の景観資源として公園内に残る既存樹木は、積極的に保全活用を図りましょう。
- ◆ 防災の視点による緩衝緑地としての機能・役割も含めた検討を図りましょう。

緑陰の形成



高木による緑陰の創出により、自然を活用した休憩スペースとなっている事例【那覇市:希望ヶ丘公園】



遊具エリアに高木を植栽し、緑陰による自然の屋根を創出した事例【豊見城市:海軍壕公園】

既存樹木やシンボルツリーなど植栽による場の演出



公園のシンボルとなっているガジュマルの木
【那覇市:新都心公園】



公園のシンボルとなっているガジュマル群。那覇市都市景観資源にも選定されている【那覇市:高良公園】



環境条件に配慮した植栽



都市部の中で生物多様性に配慮した緑の環境づくりを行った事例
【東京都:南池袋公園】



海側からの潮風を防ぐため、海側に高木を植栽し、その背後に低木や花木を植栽し、環境条件に配慮した事例【糸満市:南浜公園】

花物類(花木・草花など)による賑わいの演出



斜面部を活用し、草花を植栽している事例
【埼玉県:大崎公園】



エントランス広場一面に色とりどりの花を彩り、賑わいを演出している
(イベント時)【本部町:海洋博公園】

公共コラム

公園樹木の維持管理



公園内の樹木は公園全体の景観を形成する重要な施設であり、公園の持つ環境保全機能や防災機能などを支える重要な要素となっています。維持管理を怠ると、隣接する住宅への落ち葉や草木の繁茂等により外からの見通しが悪くなり防犯上の問題が生じるなど様々なことが懸念されます。そのため、隣接する住宅への落葉防止や見通しを確保するための剪定、草刈りなど適正な維持管理を行いましょう。



見通しの良くない事例【那覇市:若狭公園】



見通しの良い事例【那覇市:新都心公園】



1-4 建築施設

デザインの Point

- ◆ 緑豊かな空間に馴染み、落ち着いたイメージでシンプルなデザインとすることを基本とし、台風や塩害に強い構造並びに素材を用いることを基本とします。
- ◆ 歴史景観に配慮が必要な地域では、琉球石灰岩、赤瓦などの沖縄らしい素材を活用しましょう。

休憩施設



木造で屋根を赤瓦にし、歴史文化を感じるつくりとした東屋
【那覇市:首里崎山公園】



パーゴラに植物を絡ませ、緑陰を創出している事例
【那覇市:松山公園】

トイレ



休憩施設と一体化したトイレ。公園のエントランスの役割も果たしている
【那覇市:緑ヶ丘公園】



屋上部を緑化することで公園の持つ自然景観に配慮した事例
【那覇市:松山公園】

<第 20 回 那覇市都市景観賞>

管理棟



公園のエントランスの役割も果たしている管理棟
【浦添市:浦添大公園】



赤瓦の屋根で沖縄らしさを表現するとともに、園路側に植栽を行うことで公園の持つ自然との調和を図っている事例【那覇市:末吉公園】

展望台



木製で作られている展望台。公園の持つ自然景観と調和を図っている事例【浦添市:浦添大公園】



木目調のデザインで整備された展望台。公園の持つ自然景観と調和を図っている事例【名護市:名護城公園】

その他の建築物



屋上部を緑化することで、公園の持つ自然空間と調和させた建築物
【那覇市:クニンダテラス(松山公園内)】



公園の持つ自然空間に配慮し、周辺の景観と調和させた建築物
【富山県:富岩運河環水公園】

<第19回 那覇市都市景観賞>